

あなたは **大丈夫ですか？**

視野異常が「**運転リスク**」を増加させます

- 視野異常を伴う病気の多くは、加齢により増加します
- 視力が良くても視野が欠けていることがあります
- 視野異常は、自覚症状が全くないこともあります

視野異常の進行例

正常な見え方



視野異常のある見え方



信号や歩行者が見えなくなっています

【視野について】

運転には目からの情報が重要です。

安全運転のためには「良好な視力」だけではなく十分な視野（見えている範囲）が必要です。見ようと思う所だけではなく、見るべきところが見えないと、安全運転はできません。



【自覚症状について】

加齢に伴い視野が狭くなったり、部分的に見えなくなったりする病気になる人が増加しますが、視力が良いために自覚しないまま進行していることも多いのです。

👉 視野異常がおきる主な病気と見え方

【視野異常がおきる主な病気】

・緑内障 ・脳梗塞 ・眼底出血 など

初期緑内障の見え方



かすんで見える

脳梗塞の見え方



右半分が見えていないのに
気が付かない

「こんな経験」をしたら要注意！

車を運転中に、

- ✓ 短期間に複数回、車庫入れの際に塀や壁にこすってしまった
- ✓ カーブをスムーズに曲がれないことがあった
- ✓ 歩行者、障害物、他の車に注意がいかないことがあった

こんな時、もしかしたら視野が狭くなっているかもしれません。

自身の症状を把握するためにも、**一度眼科医で診察してもらいましょう。**

また、運転に不安を感じる方は、運転免許証の自主返納も検討しましょう。

監修：岐阜県眼科医会

夜間の交通事故防止

笑顔で

「ハ、ハ、ハ」運動



早めのライト・オン!



ハイビームが基本!



反射材の装着!